

2008年10月17日
株式会社スカパーJSATホールディングス

投資有価証券評価損に関するお知らせ

株式会社スカパーJSATホールディングス(本社:東京都港区、代表取締役社長:秋山 政徳)は、連結貸借対照表において「投資有価証券」に区分される保有有価証券につき、SIGMA FINANCE CORPユーロMTN債等時価の著しく下落したものについて、平成21年3月期第2四半期の連結損益計算書上において評価損を計上する必要が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期末の投資有価証券評価損の総額

(A) 平成21年3月期第2四半期末の投資有価証券評価損の総額	8,376百万円
(B) 平成20年3月期の純資産の額	176,499百万円
(A) / (B) × 100	4.75%
(C) 平成20年3月期の連結経常利益の額	10,778百万円
(A) / (C) × 100	77.71%
(D) 平成20年3月期の連結当期純利益の額	9,107百万円
(A) / (D) × 100	91.97%

* 1 上記評価損については、平成21年3月期通期決算までに洗い替えの可能性があります。

* 2 上記評価損8,376百万円は、2008年8月4日付「投資有価証券評価損に関するお知らせ」にて発表済みの平成21年3月期第1四半期の投資有価証券評価損3,555百万円に、第2四半期に生じた投資有価証券評価損4,821百万円を加えた合計額です。

2. 今後の見通し

上記の投資有価証券評価損を特別損失に計上いたしますが、平成21年3月期第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、現在平成21年3月期第2四半期の決算作業中で、税効果も含めた純利益への影響額を精査中であり、確認が出来次第発表の予定です。

以上